

■メキシコ：米国とのガス導管増強でガス火力への転換を推進

メキシコ・エネルギー省（Sener）は2016年5月17日、2018年までに総工費160億ドルをかけ、米国からのガス導管を1万km増設するという計画を発表した。メキシコ電力公社（CFE）は、石油火力からガス火力への転換を進めており、米国からの天然ガスの輸入拡大やガス導管増設は火力燃料の転換に拍車がかかると見られる。米国からメキシコへの2015年の天然ガス輸出量は前年比1.4倍増の10億5,427万立方フィートであった。